

保存版

柳井市 地震防災マップ

ゆれやすさマップ

ゆれやすさマップは、柳井市への影響が大きいと考えられる地震の揺れを想定し、マップに示したものです。家庭や地域での避難体制作りや危険の回避など、自主防災活動を支援することを目的としています。このマップを利用して、日頃の防災対策や地震発生後の避難などに役立てましょう。

柳井市役所

〒742-8714 山口県柳井市南町一丁目10番2号
TEL: 0820-22-2111 (代表) FAX: 0820-23-4595
ホームページ: <https://www.city-yanai.jp/>

平成27年12月現在

緊急連絡先

連絡先	電話番号
●柳井市役所 (昼間)	0820-22-2111
(夜間・休日)	0820-22-2116
●警察	110
柳井警察署	0820-23-0110
●消防・救急	119
柳井地区広域消防組合 消防本部	0820-22-0040
●電気の不具合: 中国電力ネットワーク株柳井ネットワーク	0120-616-318
●電話の不具合	113
NTT 西日本山口支店災害対策室	083-923-4281

わが家の防災メモ

- わが家の避難場所
- 家族の連絡先

名前	生年月日・血液型	会社や学校 (住所・電話番号)

安否確認の方法を話し合っておきましょう。
(遠方の親戚や知人の家を通ずる、災害用伝言ダイヤルを使用するなど)

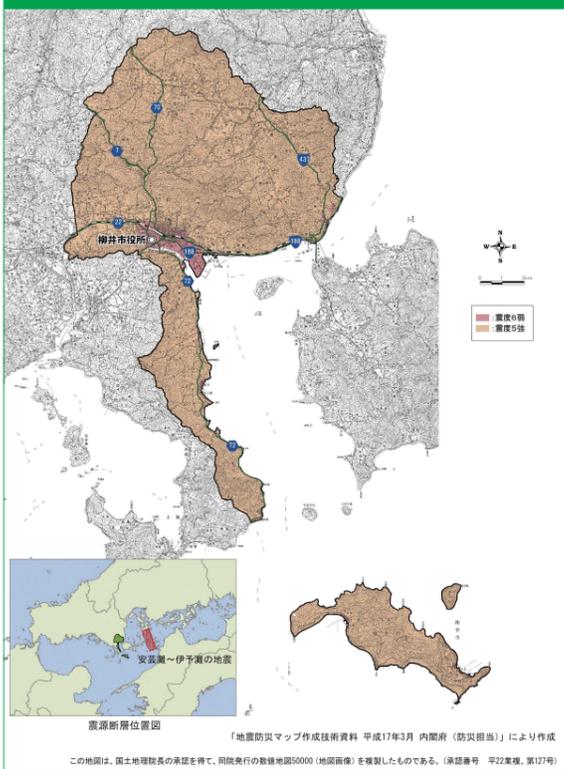
災害用伝言ダイヤル(171)

災害時、安否確認の伝言を録音・再生できるNTTのサービスです。「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って、ご利用ください。



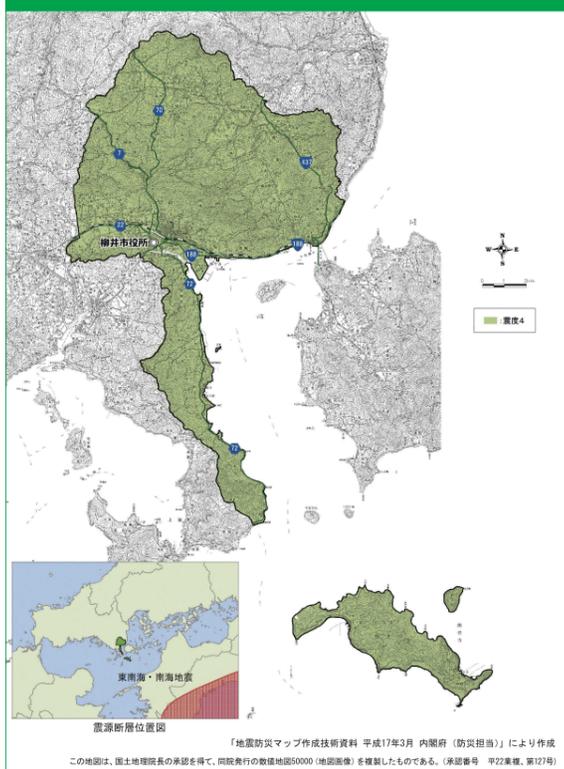
※ 詳しくはNTT西日本ホームページをご覧ください。
NTT西日本にお問い合わせ下さい。

安芸灘～伊予灘で地震が起きることを想定した ゆれやすさマップ



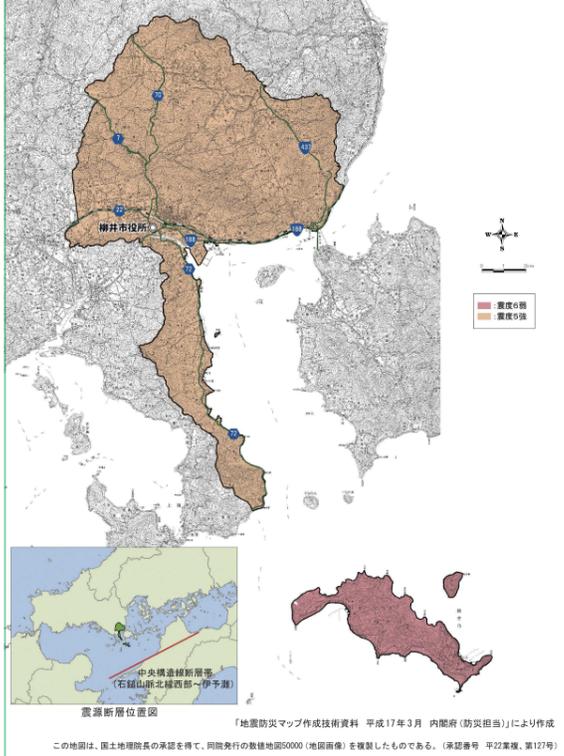
震源断層位置図 「地震防災マップ作成技術資料 平成17年3月 内閣府 (防災担当)」により作成
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平22業履、第127号)

東南海・南海地震 が起きることを想定した ゆれやすさマップ



震源断層位置図 「地震防災マップ作成技術資料 平成17年3月 内閣府 (防災担当)」により作成
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平22業履、第127号)

中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁西部～伊予灘) で地震が起きることを想定した ゆれやすさマップ



震源断層位置図 「地震防災マップ作成技術資料 平成17年3月 内閣府 (防災担当)」により作成
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平22業履、第127号)

地震がおきたら

●地震がおきたら、あわてないで次のような行動をとります。

まず身の安全を守る

すばやく、火の始末

非常脱出口の確保

火が出たらまず消火

外へ逃げるときは周囲に注意

みんなが協力しあって応援救護

正しい情報の入手

●避難する時も、あわてず冷静に行動しましょう。

火元をもう一度確認

荷物は最小限に
・身元が分かる物を身につける

ヘルメットや防災ずきんをかぶる

ブレーカーを落とし
電気を切って避難

靴を履いて避難
・避難は徒歩が原則

移動するときは、狭い道・塀ぎわ・川べりを避ける

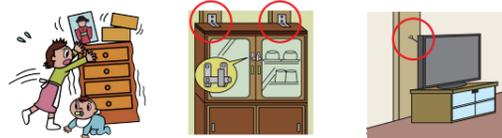
地震に備えて

●地震に備えて家の安全をチェックしましょう。



窓ガラス	ガラスのひび割れ、ガタツキを確認し、補修する。飛散防止フィルムを貼る。
ブロック塀・門柱	傾き、ひび割れなど破損箇所がないか確認し、補修する。
屋根	瓦やアンテナなど屋根の上の設置物の状態を確認し、修又は補強をする。
ベランダ	植木、鉢などの整理整頓をする。(落下しないように)
プロパンガスなど	ボンベなど倒れそうなものは鎖などで固定する。

●家の中は次の点に気をつけて安全対策をとります。



家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる	家具の位置を工夫して、少しでも安全なスペースを確保する。
寝室、子供や高齢者がいる部屋には、なるべく家具を置かない	逃げ遅れないようにスペースを確保する。家具などは、壁や柱に金具や固定器具を使って転倒防止を行う。
出入口や通路に物を置かない	玄関や出入口までの通路には倒れやすい物を置かない。

非常持出品・非常備蓄品

●非常時の持出品を準備し、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

非常持出品チェックリスト	非常備蓄品チェックリスト
携帯ラジオ 懐中電灯	予備電池も忘れずに。
ヘルメット又は防災ずきん	落下物から頭部を守るために準備しましょう
応急医薬品	ばんそうこう、消毒薬、傷薬、包帯、解熱剤、鎮痛剤、胃腸薬、かぜ薬など。
常備薬	持病のある人は常備薬も準備しましょう。
非常食	カンパン、缶詰など火を通さなくて食べられる物やミネラルウォーターなど。
貴重品・現金	預貯金通帳、印鑑、健康保険証、免許証など。現金は紙幣だけでなく10円玉 (公衆電話などで使用) も用意しましょう。
生活用品	ライター(マッチ)、缶きり、ティッシュ(ウェットティッシュ)、タオル、下着、上着、靴下、手袋、カッパ、筆記用具、メモ帳など。

非常食	そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの。缶詰、カップラーメン、レトルト食品、チョコレート、氷砂糖など。
飲料水	1人1日3リットルを目安に用意。(ミネラルウォーターなどの保存期間は十分確認する。) また、生活用水の確保のため、風呂の水は、次に入るまで抜かない。
生活用品	卓上コンロ(ボンベ)、洗面用具、ビニール袋、ビニールシート、新聞紙、キッチン用ラップ、裁縫セット、なべ、ガムテープ、地図、雨具、筆記用具など。

※ 消火・救助用具も忘れずに!

地震等の発生後、火災や家屋倒壊などに備えて、消火器やバケツ、スコップ、バール、のこぎりなどの工具類も用意しておきましょう。

